

ちょっとちょっと奥さん お宅の電気、もう切り替えましたあ？

ごみ・環境ビジョン21 運営委員
江川美穂子

3.11以降、「もう東京電力の電気はいやだ！ドイツのように電気が選べたら…」と思いましたよね。そして3年前、ついに電力自由化になり、日本でも電力会社を選べるようになりました。ところが、新電力（電力小売り会社）は600社もできたのに、切り替えた人の割合は電力量で12.2%にとどまっているそうです。

一方で、東京電力はあのような過酷な原発事故を起こしたにもかかわらず、国が私たちの税金を投入して経営は黒字。そして新設の東通原発（青森県）*に、なんと資金提供をするんですよ！もうめっちゃくちゃ!! 国民をなめてますよね。

国は原発事故の被害者には冷たく、東電の当時の幹部たちは事故の責任は取らず、これからも国を挙げて原発を推進、さらに小型原発も開発しようとしている…怒り心頭です。世界からも呆れられています。

というわけで、まだ自宅の電気を東電から買っている方は、とっとと他の電力小売り会社に切り替えましょう！

*東通（ひがしどおり）原発：青森県下北半島東通村で1号が2011年1月に着工。すぐに起きた東日本大震災で工事が停止されている。



私は心底怒っている！
あなたもでしょ？



自然エネルギー*重視の新電力を選ぼう



大手の新電力（ガス会社、携帯電話会社、商社など）は低価格を追求するために石炭火力発電をこれから建てようとしている会社もあります。

パワーシフト・キャンペーン*が紹介している26社（小売り電力会社+取次/数は2019年5月現在）がお勧めです。一覧表を同封しましたのでご覧ください。

*自然エネルギー：持続可能で地域住民も合意する自然エネルギーであることが大事です。

*2016年の電力小売自由化に伴って「自然エネルギーの電気をえらぼう！」とよびかけるキャンペーン。NGOや市民団体などで運営しています。

切り替え Q&A

1. 電気工事は必要？ → 必要ありません。
2. 電気料金が高くなる？ → 大手電力会社と同じか少し安いくらい。契約アンペアが小さい（20アンペア以下）場合や使用量が少ない場合は少し高くなることもあります。
3. 集合住宅でも切り替えできる？ → 世帯ごとに電力会社と契約していれば切り替えできます。建物一括で契約している場合には管理組合などの合意で契約変更ができます。
4. 停電などのリスクは？ → 停電のリスクはどの電力会社でも変わりません。
5. 原発の電気も交じってしまうのでは？ → 物理的に届く電気は同じでも、電気代の使われ方が変わり、原発や火力発電ではなく自然エネルギーや地域の応援になります。
6. 具体的にどうすればいいの？ → パワーシフト一覧を参考に電力会社を選びます。これまでの電力会社の請求書を準備して、その会社にウェブサイトや電話で申し込んでください。申し込んだ電力会社が切り替え手続きをしてくれて、2~3週間で手続き完了！

え、こんなに簡単なもの？
マンションでも大丈夫なんだー。

